

市民パト・センだより

～安全・安心のまちづくりのためのパトロール活動！～

羽村市市民生活部長 小林 秀治

皆さん、こんにちは。羽村市市民生活部長の小林です。

NPO法人「市民パトロールセンターはむら」の皆様方におかれましては、日頃より地域の安全・安心のまちづくりにご尽力いただき深く感謝申し上げます。また、PTAの見守り活動や、ボランティア活動でご協力いただいている方におかれましても厚く御礼申し上げます。



安全・安心のまちづくりに対する取組みは、市民の皆様、各種団体の皆様、福生警察署、福生消防署、羽村市等が連携を取りながら進めていくことが必要であり、重要であります。市内の犯罪発生件数を見てみますと、平成27年599件、平成28年550件、平成29年437件（警視庁ホームページより）というように右肩下がりで減少しており、これも皆さまの活動によるものが大きいと考えております。

市といたしましても、犯罪のない、安全で安心して暮らせるまちを実現するために、関係団体との連携を一層強化していくとともに、行政の取組みを一層進めてまいりたいと考えております。

皆さまにおかれましても、引き続きご協力賜りますようお願い申し上げますとともに、活動中にはご自身の体調や安全に十分気を付けていただき、ご活躍いただきますようお願い申し上げます。

パトロールの眼(その11)

～鶺鴒の目・鷹の目～

命に関わる危険な暑さだった今夏も過ぎ、心地よい秋風を頬にパトロールをする隊員の顔が急に曇り、厳しい鋭い目にうれいが走る。緑地帯の植え込みに放置された白いビニール袋を発見、プラスチックに混じった生ごみから悪臭が漂う。自分の住む指定の場所に置けばよいものを、何故こんな場所に放棄するのだろう…同じ市民として恥ずかしく情けない。強い憤りと悲しい気持ちになる。

この光景、公園などでもよく見かける。この後始末、誰かがせねばならぬこと、放棄した輩はご存知だろうか…逆に最近、タバコのポイ捨てや放置自転車は前に比べて減少しているようで嬉しい限り。隊員の顔も曇ったり晴れたりして、今日も鶺鴒の眼・鷹の眼で監視を続けている。（響）

パトロール活動について



今年のお盆休みに、一躍注目を集めた人がスーパーボランティア尾島春夫さんでした。新潟中越地震、東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨等への復興支援に参加しておられたという。

今回の山口県の2歳児の行方不明になった藤本理稀ちゃんの救出は見事でスーパーボランティアたる証でした。

最近は自然災害に端を発し、災害ボランティア、防犯ボランティアの高まりがあります。

「私たちの街は私たちが守ろう」の合言葉で未来ある子ども達の安全を見守るのもパトロールの大切な役割です。

※市民パトロールセンターはむらの活動の現状を紹介します。

- ① 1か月の実質活動隊員は約16人（パトロールしている70歳以上の隊員数人を中心にローテーションを組んでいる。）
- ② 午前9時30分～午後9時まで、二人一組で徒歩パト（1時間）または二人一組で青色回転灯パト車のパトロール（2時間）の活動
- ③ 活動拠点は羽村市商業協同組合事務所の隣にある市民パトロールセンターはむらです。是非、パトロール活動に協力できる方をお待ちしております。（羽東1-1-8）



パトロール隊長 森 佳愛

犯罪発生とパトセンに寄せられた情報

羽村市内の犯罪発生状況

（資料提供：福生警察署）単位：件数

	凶悪犯	粗暴犯	侵入盗犯	非侵入盗犯	知能犯	風俗犯	その他	計
平成30年1月～8月	0	7	10	115	5	1	27	165
平成29年4月～8月	0	10	5	133	9	3	29	189
4～8月比較増減	0	-3	5	-18	-4	-2	-2	-24

前年と比べて「非侵入盗犯」が非常に減っています。その多くは自転車の盗難防止のための施錠がされたことによるものです。また、駐車場における車上狙いも多発しており、今後は駐輪場や駐車場を重点に警戒していきますが、皆さんの注意や関心が期待されます。

市民パトロール活動状況

平成30年4月1日～平成30年9月30日（6か月間）

実施時間	述べ日数	述べ実施時間	実施者数	述べ回数
昼間	222	204	292	146
夜間		367	398	191
深夜		374	250	125
計	222	945	940	462

- ・ 7/24 福生警察署主催の小作駅周辺の環境浄化防犯パトロールに当法人が20人参加した。
- ・ 7/29の1日、実行委員会の一員として、羽村市夏まつりの会場と周辺の巡回パトロールを実施。
- ・ 8/1～3までの3日間、社会福祉協議会主催「2018!体験ボランティア」の実施機関として当法人が参加し、ボランティア活動を希望した子ども達（4人）と一緒にパトロール活動を行った。
- ・ 9/22・23の両日、羽村ふるさと祭りのパトロール活動に参加し、会場周辺の巡回パトロールを実施した。



子どもたちのパトロール体験

8月1～3日、羽村市社会福祉協議会主催「夏！体験ボランティア」に今年も子ども達4人がパトロール活動に、ボランティアとして参加してくれました。

パトロールセンターの活動内容の説明を聞いているボランティアの皆さん、昨年も経験されていることから落ち着いておりました。その後、青パトの簡単な清掃と車両点検し、市内へ出発しました。



今年は猛暑であることから熱中症予防についての広報活動をしていただきました。パトロールや広報などの貴重な体験を学校生活やこれからの将来に少しでも役立てていただきたいと思います。



あおばずく隊から一言



あおばずく隊員となって8か月が経ちました。

羽村に住んでいても知らない場所がたくさんあることに毎回感動しています。

親切な先輩のアドバイスや、また多くの人との出会いがあり、入って良かったと実感しています。

パトロールの時、子ども達が駆け寄って手を振ってくれる姿は、心が和みます。この子ども達の安全のためにも頑張らなくてはと思います。

市民の安心安全のため、重要な役割を果たしている青パトをもっと多くの人に知っていただき、楽しく有意義な活動ができるよう心掛けていきたいと思っています。

宮川光江 隊員

あおばずく隊員となって8か月、羽村の歴史に触れ、公園も多く、色々なことを先輩の隊員に教えて頂きながら、活動できることを感謝しています。

公園トイレでの声掛け、見回りの中で、高木の枯れ枝等の状況、街灯の球切れなど、危険なことがたくさんあります。その現場の写真を撮り、案内図を書き、日報にまとめ、各部署に連絡されます。これが私たち隊員の活動です。

パトロール活動中の私たちに子ども達も元気いっぱい手を振ってくれます。

パトロール隊員として、恥ずかしくない活動をしていきたいと思っています。

桑原マサ子 隊員

今年も産業祭に出展します！

11月3日（土）・11月4日（日）に富士見公園に集合！

当日は、青色回転灯装備パトロール車（略称「青パト」）の展示や防犯クイズを行いますので、産業祭にお越しの節は、「市民パトロールセンターはむら」のブースにぜひお立ち寄りください。（参加賞があります。）

青パトの体験乗車やパトロール隊員の服装での記念撮影ができます。

ぜひお立ち寄りください！





正会員・賛助会員募集

私たちは、羽村市の皆さまの安全・安心の街づくりのため「市民パトロールセンター」を拠点とし、防犯活動をしています。

この活動を更に充実・強化し、警察・消防署・市役所などの官公庁、そして羽村市内の各団体との一層綿密な連携により、市民ボランティアによる自立した民間の組織団体として、今後も様々な活動を展開していきます。

会費は、この活動をより充実したものとするための運営資金に充てさせていただきます。ぜひ会員に加入してください。

ご連絡いただければ、説明に伺いますので、どうぞお気軽にお問い合わせください。

区 分		入会金 (初年度のみ)	会 費(毎年度)
正 会 員	個 人	1,000 円	5,000 円
	団 体	3,000 円	10,000 円
賛助会員	個 人	0 円	1 口(1,000 円)以上
	団 体	0 円	1 口(1,000 円)以上

問合せ・申し込み

小作センター 555-8101
羽村センター 555-8586

パトロール活動に参加される
隊員を募集しています。

皆様のご協力をお願いいたします。

新会員を紹介します

(平成 30 年 6 月 1 日～9 月末日)

〈正会員〉(敬称略・五十音順)

高瀬光春・樋口和夫

〈賛助会員〉

青木麻子・塩田真紀子



東京消防庁から感謝状

9月11日東京消防庁救急部長から当法人に、救命講習に積極的に取り組んでいることに対して感謝状を受領しました。



今後も安全・安心のまちづくりのためのパトロール活動に努めて参ります。

編集後記

今年は7月の西日本の豪雨により甚大な被害が発生した。そして、全国的に猛暑が続く熊谷では歴代最高の暑さを記録した。9月には台風により関西空港が甚大な被害を受けた矢先に、北海道を襲った最大震度7の地震は、土砂災害などで震源付近の厚真町の住民の多くが犠牲者となり、道内全域が一時停電するなど大きな被害をもたらした。このような異常気象は日本だけにとどまらず世界的な規模であり、自然災害の恐ろしさを実感させられた。(事務局)

発行 平成 30 年 (2018 年) 10 月 15 日
編集 NPO 法人 市民パトロールセンターはむら
羽村市小作台 1-16-1 TEL・FAX 5 5 5 - 8 1 0 1
E-mail アドレス : patosen-hamura@tokyo.email.ne.jp